

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

| | | | |
|-------|---|--------------------------------|---|
| 課題番号 | 15H05788 | 研究期間 | 平成27年度～平成31年度 |
| 研究課題名 | 生活習慣病の高血圧／臓器障害における糖質・鉱質コルチコイドの役割と新規治療探索 | 研究代表者 (所属・職) (平成30年3月現在) | 藤田 敏郎 (東京大学・先端科学技術研究センター・名誉教授／特任研究員) |

【平成30年度 研究進捗評価結果】

| 評価 | 評価基準 | |
|---|------|---|
| | A+ | 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる |
| ○ | A | 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる |
| | A- | 当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である |
| | B | 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である |
| | C | 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である |
| (意見等) | | |
| <p>本研究は、アルドステロン・糖質コルチコイドによる MR・GR 活性化による高血圧・腎/心障害の分子機構と新規治療薬探索を目的としたものであり、幾つかの重要な進展が認められる。</p> <p>例えば、MR のリガンド結合領域のリン酸化に関与する MR キナーゼの同定に成功しており、新規 MR 活性化阻害薬の手掛かりを得ている。また、妊娠時ストレスにより視床下部における DNMT3a の減少に伴ってアンジオテンシン受容体 AT1a の DNA 脱メチル化を伴う発現上昇が生じること、DNMT3a 欠損マウスでは塩分負荷時に高血圧を発症することを見いだしている。</p> <p>一方で、一部に当初目標が未達成のものもあるが、全体としては着実に進展しているものと判断した。</p> | | |